

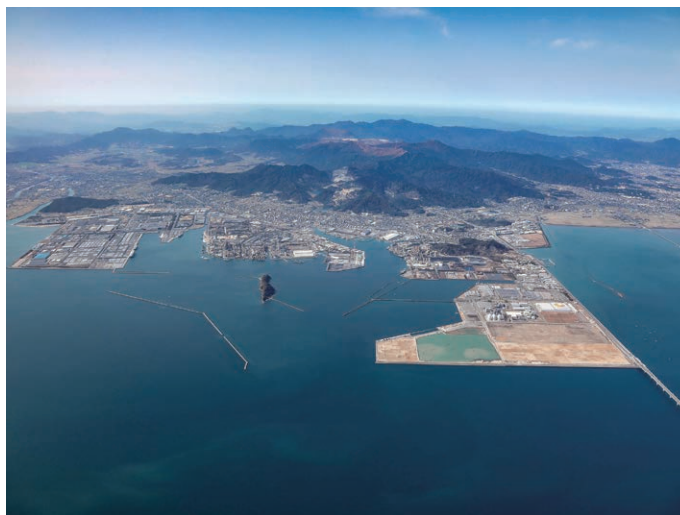
苅田港

福岡県県土整備部港湾課

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7

☎092-651-1111(代)

URL：http://www.pref.fukuoka.lg.jp



1. 概況

本港は、国の出炭奨励政策が進められていた昭和14年に、筑豊炭の積出港として国の手によって修築に着手し、昭和19年に岸壁及び積出し栈橋の一部が竣工し、運用を開始した。

第2次大戦後は、一時閉鎖状態となったものの、鉄とともに石炭が戦後復興の重点産業とされ、筑豊炭の出炭量の増大に伴い活況を取戻し、昭和26年には重要港湾、準特定重要港湾に指定され、同年福岡県が港湾管理者となり、昭和29年に福岡県苅田港務所が設置された。

昭和20年代後半我が国の産業は、急速な発展を続け、それに伴って産業製品等の内外貿易は飛躍的な伸びを示した。海上輸送上好位置にある本港は43年には貿易港として開港し、翌44年に木材輸入港として指定されるに及び、急速に港勢を伸ばすこととなった。

昭和31年の九州電力(株)苅田発電所の火力発電開始をはじめ、セメント関連企業、木材関連企業等の進出、操業が続き、50年には日産自動車(株)九州工場がエンジンの生産・出荷を開始した。

その間臨海工業用地(1号埋立地、昭和34年～40年)、小波瀬工業用地(昭和40年～47年)、松山工業用地(昭和47年～54年)、臨海工業用地(2号埋立地、昭和52年～61年)等の埋立て造成を行うとともに、昭和45年に本港10号岸壁、48年にフェリー埠頭、52年には松山木材岸壁、54年には南港7号B岸壁の供用開始など、港湾施設の整備・拡充を図り、背後に広大な工場群を配する県営の最大埠頭となった。

その後も港湾の整備・拡充は着々と進められ、南港地区では平成11年に南航路を水深-10m、航路幅190mに拡幅整備して、南港10号岸壁とともに供用開始した。平成22年には耐震強化岸壁の整備や航路幅300mの拡幅整備が完了した。合わせて、野積場整備も進み、南港地区の利便性及び機能性が飛躍的に向上した。本港地区では、平成16年に本港13号岸壁をアンローダーとともに供用開始し、バラ貨物の荷役能

力が増強された。令和元年には、第2本航路を水深-12m、航路幅200m、延長12,300mで暫定供用開始した。

新松山地区では船舶の大型化と内外貿易貨物の増大に対応した港湾施設、埠頭の整備を進め、平成30年度に新松山51、52号野積場を、令和2年に新松山5号岸壁の一部と新松山13号岸壁(暫定-10m)を供用開始した。現在も増加する貨物需要に対応するため、岸壁(-12m)及び泊地(暫定-10m)の整備を進めている。

松山地区では、平成17年にトヨタ自動車九州(株)のエンジン工場が操業開始した。その後も臨海部用地の需要に対応した工業団地の造成を行い、新松山地区では平成27年から新松山臨海工業団地(約40ha)の分譲を開始し、令和元年度には完売した。平成31年度からユニ・チャームプロダクツ(株)が操業開始、令和3年度から5年度にかけ、バイオマス発電3社が営業運転を開始している。令和4年度から開始した第2期分譲についても令和7年2月にトヨタ自動車(株)が全敷地を購入し完売している。残る約30haについても第3期分譲予定地として同年から造成工事を進めている。さらに3期分譲地の南側においても、大型船が利用可能な新たな岸壁やふ頭の整備を、国と連携して進めている。また、令和7年度から3期分譲地に隣接する新たな土地の造成に着手している。

貨物取扱量については、平成6年に年間貨物取扱量が初めて3,000万トンを超え、9年には3,500万トンと順調に推移し、平成29年は3,720万トンと過去最高を更新した。令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり3,100万トンと減少したが、令和3年度からは回復傾向を見せている。

本港の周辺では、現在までに、社会基盤整備として北九州空港や東九州自動車道(苅田北九州空港IC)が整備されたことで、本港は陸・海・空の交通が近接した物流の結節点の一つとして高いポテンシャルを有する港湾となった。

今後苅田港の役割は、北九州・京築地域の物流拠点としてますます大きくなるものと期待されている。

2. 港勢

入港船舶

トン数別 種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	516	12,639,348	209	8,112,009	173	4,007,969	26	231,594
内航商船	8,074	17,553,197			597	7,153,099	240	2,010,808
自航 その他	175	64,624						
合計	8,765	30,257,169	209	8,112,009	770	11,161,068	266	2,242,402

トン数別 種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	23	119,360	85	168,416				
内航商船	949	4,409,912	495	1,141,445	1,907	1,349,764	3,886	1,488,169
自航 その他	4	15,208	6	8,793	10	7,407	155	33,216
合計	976	4,544,480	586	1,318,654	1,917	1,357,171	4,041	1,521,385

最大入港船舶のトン数 71,706総トン（喫水 9.05m）

海上出入貨物

品種 項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	5,165,520	100.0					239,210	4.6	3,309,000	64.1
輸入	1,585,645	100.0			453,050	28.6	373,010	23.5	163,961	10.3
計	6,751,165	100.0			453,050	6.7	612,220	9.1	3,472,961	51.4
移出	15,629,083	100.0					2,436,060	15.6	6,290,186	40.2
移入	10,663,136	100.0					3,095,574	29.0	5,832,872	54.7
計	26,292,219	100.0					5,531,634	21.0	12,123,058	46.1
合計	33,043,384	100.0			453,050	1.4	6,143,854	18.6	15,596,019	47.2

品種 項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	1,555,982	30.1					61,328	1.2		
輸入	236,142	14.9					359,482	22.7		
計	1,792,124	26.5					420,810	6.2		
移出	6,795,737	43.5	12,767	0.1			94,333	0.6		
移入	445,050	4.2					1,289,640	12.1		
計	7,240,787	27.5	12,767	0.0			1,383,973	5.3		
合計	9,032,911	27.3	12,767	0.0			1,804,783	5.5		

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出			
輸入			

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路			
内国航路			
計			

3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な取扱貨物
	バース名	前面水深 (m)	延長 (m)	最大 けい船 能力 (DWT)	船 席 数	荷役機械		上屋			
						機械名	揚力 (t)	基数	棟数	使用面積 (㎡)	
(公 共)	本港13号岸壁	13.0	260	40,000	1	機械式連続U	850	1			非金属鉱物
	本港10号岸壁	10.0	370	10,000	2				1	4,588	〃
	本港7号岸壁	7.5	130	5,000	1						鉄鉱石
	本港6号岸壁	6.5	110	3,000	1						〃
	本港5号岸壁	5.5	150	2,000	2	荷役ホッパー	200t/h	2	1	1,200	鉄鉱石
	本港4号岸壁	4.5	386	700	6						〃
	南港10号岸壁	10.0	340	10,000	2						完成自動車
	南港7号A岸壁	7.5	130	5,000	1						石灰石
	南港7号B岸壁	7.5	260	5,000	2						石灰石
	南港7号C岸壁	7.5	130	5,000	1						鉄鋼
	南港5号岸壁	5.5	360	2,000	4						〃
	南港4号岸壁	4.5	440	700	7						砂、砂利
	松山ドルフィン	10.0	580	10,000	2						
	松山木材岸壁	10.0	185	10,000	1						再利用資材
	フェリーA岸壁	7.5	195	7,500	1						自動車部品
	南港7号D岸壁 耐震(緊急)	7.5	230	5,000	1						
	新松山5号A岸壁	5.5	100	2,000	1						
	新松山5号B岸壁	5.5	100	2,000	1						
	新松山5号C岸壁	5.5	100	2,000	1						
	新松山5号D岸壁	5.5	100	2,000	1						
	新松山5号E岸壁	5.5	100	2,000	1						
	新松山7号岸壁	5.5	130	6,000	1						
	新松山13号岸壁	10.0	260	40,000	1						
(私 設)											
日産自動車(株)	日産自動車(株)荻田 専用埠頭(外航)	10.0	230	10,000	1						完成自動車
	日産自動車(株)荻田 専用埠頭(内航)	7.5	300	10,000	1						自動車部品
九州電力(株)	九州電力 石灰石受入栈橋	7.5	32	3,500	2	石炭水切り ホッパーNo.3	1400 t/h	1			石灰石
麻生セメント(株)	3号栈橋	7.5	28	1,500	1	Cクラムシェル	250 t/h	1			原燃料
	2号栈橋	7.5	35	4,250	1	No.1B	500 t/h	1			セメント
	1号栈橋	6.0	74	1,500	2	No.2C	250 t/h	1			原燃料
UBE三菱セメント(株) 九州工場荻田第二地区	UBE三菱荻田第二 地区出荷1号栈橋	7.5	86	5,000	1	双胴型ベーツ	900 t/h	4			セメント
	UBE三菱荻田第二 地区出荷2号栈橋	7.5	63	5,000	1	〃	700 t/h	2			〃
	UBE三菱荻田第二 地区受入1号栈橋	6.0	46	500	1	ジブC	150 t/h	1			原燃料
	UBE三菱荻田第二 地区受入2号栈橋	4.5	34	500	1	水平引込C	250 t/h	1			〃
	UBE三菱荻田第二 地区受入3号栈橋	6.0	55	5,000	1	〃	350 t/h	1			〃

区 分 埠 頭 名	け い 船 施 設					荷 さ ば き 施 設					主 な 取扱貨物
	バース名	前面 水深 (m)	延長 (m)	最大 けい船 能力 (DWT)	船 席 数	荷 役 機 械			上 屋		
						機 械 名	揚力 (t)	基 数	棟 数	使用 面積 (㎡)	
UBE三菱セメント(株) 九州工場苅田第一地区	UBE三 菱 セ メ ン ト No.1 栈 橋	5.5	71	2,000	1	No.1C	300 t/h	1			〃
	UBE三 菱 セ メ ン ト No.2 栈 橋	6.0	41	2,000	1	No.2栈橋積込 設備(エアース ライド方式)	700 t/h	1			セメント
	UBE三 菱 セ メ ン ト No.3 栈 橋	7.5	114	10,000	1	No.3栈橋積込 設備(エアース ライド方式)	1000 t/h	1			〃
	UBE三 菱 セ メ ン ト No.4 栈 橋	10.0	185	15,000	1	連続式アン ローダ シップL	700 t/h 1,000 t/h	1 1			原燃料セメント
	UBE三 菱 セ メ ン ト No.5 栈 橋	6.0	176	3,500	1	No.3C	500 t/h	1			原燃料
	UBE三 菱 セ メ ン ト No.6 栈 橋	9.0	173	13,500	1	シップL	2,000 t/h				〃
豊 鋼 材 工 業 (株)	豊 鋼 材 岸 壁	4.5	215	1,500	2	天井走行C		1			鉄鋼
太平洋セメント(株)	太平洋セメント(株) 栈 橋	7.5	49	5,000	1	太平洋セメント(株)B	1,300 t/h	1			セメント

保 管 施 設		
区 分	棟数	面積・容量
野積場 (自動車、原木、石炭、 雑貨)	-	655,017㎡ -
普通倉庫	-	-
1～3類倉庫	1	308㎡
危険品倉庫	2	68㎡
野積倉庫	-	-
貯蔵倉庫(サイロ)	-	-
冷蔵倉庫	-	-
水面倉庫(貯木場)	-	416,624㎡

泊 地		
区 分	水深(m)	面 積 (㎡)
錨泊地	-	-
はしけ溜	-	-
木材投下泊地	-	-
危険物泊地	-	-

港 湾 関 連 施 設	
名 称	延床面積 (㎡)
-	-

臨 港 交 通 施 設	
名 称	総延長 (m)
臨港道路	33,848
新交通・鉄道	-
ヘリポート	-

4. コンテナターミナルの概要

該当なし

5. マリーナ

該当なし

6. 緑地

名 称	区 分	面 積 (㎡) (植栽率 - %)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施 設	
						利 用 施 設	附 属 施 設
本港緑地		3,102 (70)	-	休息緑地	昭和50年度	ベンチ	
苅田港緑地公園		34,829 (60)	-	休息緑地、 大規模地震 等対策施設	昭和51年度	ベンチ	遊歩道
南港緑地		3,940 (30)	-	休息緑地、 大規模地震 等対策施設	昭和63年度	ベンチ	遊歩道
幸町緑地		5,165 (70)	-	休息緑地	平成7年度		
松山緑地		29,221 (60)	-	休息緑地	平成9年度	トイレ	遊歩道
磯浜緑地		10,023 (不詳)	-	休息緑地	平成19年度	トイレ、連絡橋	
港町緑地		1,672 (不詳)	-	休息緑地	平成23年度	ベンチ	

7. 基地港湾

該当なし

8. ポートサービス

港湾運送

名 称	所 在 地	電話番号	業 種					
			一 般	港湾荷役			は し け	い か だ
				港 湾 荷 役 (一貫)	船 内	沿 岸		
苅田港海陸運送(株)	〒800-0315 京都郡苅田町港町30-1	093-436-0681	○	○				
(株)上組門司支店苅田出張所	〒800-0311 京都郡苅田町長浜町10	093-436-0826			○	○		
苅田荷役(株)	〒800-0315 京都郡苅田町港町11-2	093-436-0028				○		
伸栄運輸商事(株)	〒800-0313 京都郡苅田町磯浜町1-17-5	093-436-0933		○				
日本通運(株)苅田港運支店	〒800-0311 京都郡苅田町長浜町47	093-434-4335				○		
門司港運(株)苅田港出張所	〒800-0315 京都郡苅田町港町22-9	093-436-2181	○					

水先

水 先 区	水 先 人 会 事 務 所 所 在 地	電話番号	会員数
内海	〒801-0853 北九州市門司区東港町6-7	093-332-7191	129

曳船

名 称	所 在 地	電話番号	馬 力	隻数
福島海運(株)	〒800-0313 京都郡苅田町磯浜町1-3-9	093-434-2939	3,600 4,000 4,400	3 2 1
グリーン SHIPPING(株)	〒800-0321 京都郡苅田町新浜町2-2	093-436-5120	4,000 4,400	1 1

通船

名 称	所 在 地	電話番号	隻数
苅田ポートサービス(株)	〒800-0313 京都郡苅田町磯浜町1-3-9	093-434-6348	3

給水船

名 称	所 在 地	電話番号	給水能力(トン)	隻数
苅田ポートサービス(株)	〒800-0313 京都郡苅田町磯浜町1-3-9	093-434-6348	200	1

給油船

名 称	所 在 地	電話番号	能 力
筑豊砒産(株)	〒800-0302 京都郡苅田町若久町1-1-1	093-434-0579	60k/H

医療・厚生施設

(港湾)

区 分	名 称	所 在 地	電話番号
休憩所	本港休憩所	〒800-0315 京都郡苅田町港町23 1号上屋東側	

9. 関係出先官公署

名 称	所 在 地	電話番号
門司税関苅田出張所	〒800-0315 京都郡苅田町港町27	093-436-1458
九州地方整備局苅田港湾事務所	〒800-0315 京都郡苅田町港町28-2	093-436-0581
門司海上保安部苅田海上保安署	〒800-0315 京都郡苅田町港町27	093-436-3356
福岡県苅田港務所	〒800-0315 京都郡苅田町港町29	093-434-0585
福岡県企業局苅田事務所	〒800-0322 京都郡苅田町二崎58-15	0930-23-1118
港簡易郵便局	〒800-0315 京都郡苅田町港町10-5	093-436-5491
行橋警察署苅田交番	〒800-0313 京都郡苅田町神田町1-9-12	093-436-0555
苅田町役場	〒800-0352 京都郡苅田町富久町1-19-1	093-434-1111

